



Medical Management Specialist

MMS NEWS

2015

5
月号

●発行/一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F

●編集/日本医療企画
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/



大盛況となった前回の京都大会。今年もより一層の盛り上がり期待される

「地方創生」の時代！
新たな地域医療の実現を目指して

社会において、目指すべき方向性として提示されているキーワードが「地方創生」である。中央集権から脱し、各地域が自らの資源を活かしながら活性化を図っていくことが求められる時代において、地場産業、社会的インフ

全国大会の力ぎは「地方創生」
医療経営士の新たな取り組みに期待

前回の第3回全国医療経営士実践研究大会・京都大会には、全国から2日間で延べ400名近くが参加。活気あふれる大会となった。

開催される今年度大会のテーマは「地方創生の時代！ 新たな地域医療の実現を目指して」医療経営士が解決すべき課題と担うべき役割」に決まった。少子超高齢社会、人口減少

第4回全国医療経営士実践研究大会・金沢大会のテーマ決定！

『地方創生』の時代！
新たな地域医療の実現を目指して

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事・吉原健二)は、10月31日(土)・11月1日(日)の両日、第4回目となる全国医療経営士実践研究大会・金沢大会(会場：石川県地場産業振興センター)を開催する。地域医療のあり方が問われるなかで、求められるこれからの医療経営士像をとともに考えていきたい。

さらには今大会ではこれまでのプログラムに加え、新たに大会前日に病院見学会の実施を検討している。地域医療の現場を体感することが可能になるだけでなく、全国から集まる多職種・多業種の医療経営士と北陸地域の医

ラとしての側面も有する医療分野には大きな期待が掛けられている。そのような状況であるからこそ、医療の専門職ではない医療経営士が活躍する場面が拡大していくことが予想される。社会の大きな転換期である今、本大会が医療経営士として何ができるのか、何をすべきなのかを考えていく場となることを期待したい。

大会運営委員長からの言葉

神野正博氏
社会医療法人財団董仙会理事長
日本医療経営実践協会北陸支部支部長

現在、社会保障分野においては、団塊の世代の方々が後期高齢者になる「2025年」に向けてさまざまな動きが始まっています。特に、これからの10年は、国の財政制度、医療・介護の報酬体系・制度、さらには地域包括ケアシステム、地域医療構想策定などの分野で大きな変革が待ち受けています。地域医療の持続可能性を守り、患者の安心はもとより働く医療人が誇りを持てる社会を作り上げていくために、医療機関の経営者や医療経営士は、知恵を出し、議論し、留まることのない自己変革を続けていかなければなりません。

大会のテーマは発表されたとおりですが、本大会には「地域、医療、そして働く医療人に「かはやき」を」というメッセージが込められています。わが国においても非常に重要な年であるこの2015年に金沢で全国大会を開催させていただくことの意義をしっかりと受け止め、これからの激動の時代に医療経営士の皆様が誇りと自信を持って仕事をしていくための礎にできる大会にしていきたいと思っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**地元の医療機関への見学会など
これまでにない新たな試みも企画**

療機関との新たなネットワークづくりの足がかりとなることを期待している。

3月には北陸新幹線が開通し、首都圏から金沢へのアクセスは大幅に改善された。全国の医療経営士の皆様にはぜひ北陸の地に足を運

び、医療経営士に関する知覚を研ぎ澄まし、知見を得る機会としていただきたいと思います。

演題発表のエントリー方法や講演者等の大会詳細については、決定次第、当協会のホームページ(<http://www.jmmpa.jp>)にて順次公開していくほか、会員向けメールマガジン等でも情報を提供していきます。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験 受験エントリー 締切間近! 5月8日(金)まで!

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 2015年

6/21 (日)

■受験エントリー期間
4月3日(金)～5月8日(金)

■受験料支払締切日
5月12日(火)

	第15回「医療経営士3級」	第9回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	8,640円(税込)	15,400円(税込) 3級取得者 13,400円(税込) 分野受験(分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、本会正会員
試験会場 (予定)	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡・鹿児島	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

「資格取得時のインセンティブに関するアンケート調査」集計結果報告

医療経営士が所属する組織の38.2%が資格取得を推奨！ 報奨金・資格手当を支給している組織は1割未満

一般社団法人日本医療経営実践協会では、2015年3月11日～17日にかけて、協会会員に対して「資格取得時のインセンティブに関するアンケート調査」を実施した。集計結果は3面下段のとおり。医療経営士が所属する医療機関・企業において、資格認定試験の受験を推奨している組織は38.2%、資格取得時に報奨金または資格手当を支給している組織は1割未満にとどまった。

今後、医療経営士の認知度を上げ、多くの組織のなかに浸透させていくためには、協会からの積極的な情報発信とともに、各会員が所属組織において資格取得の成果を発揮していくことが求められるだろう。

アンケートの回答を寄せていただいたなかから、実際にインセンティブを設けている医療機関・企業の取り組みをレポートする。

医療法人社団創造会（千葉県我孫子市）
菊地政夫 法人事務局長

推奨資格支援制度の対象資格として受験料の半額補助と祝い金を支給

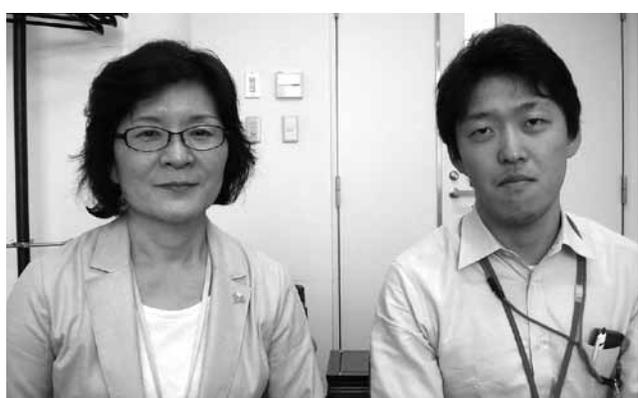
医療法人社団創造会は、平和台病院をはじめ、介護老人保健施設やグループホームなどを有し、地域の保健・医療・介護に貢献する「メディカルプラザ構想」の実現・発展を目指して



法人事務局長の菊地政夫さん(右)と法人事務局長業務部統括係長で医療経営士2級の大橋喜行さん

います。総務部と業務部で構成される法人事務局は「ヒト」「モノ」「カネ」の三大経営資源の総合的な管理、効率的な調達・運用が主な業務です。当法人では、職員

による推薦もあって、2011年度から対象資格に加え、ランクとしては1～3級をそれぞれA～Cに設定しています。実際に医療経営士を取得した2人の職員(ともに2級)からは、広く医療全般に関する知識を習得でき、医療・介護に携わる方には有意義な資格だという話を聞いています。自ら率先して試験に臨み、知見を高めること



法人事務部長の野口寿美代さん(左)と診療情報管理室の濱口寛士さん

医療経営士に合格した職員には、普段の業務のなかでその成果を発揮してもらうと同時に、法人の広報紙などを通して医療経営士の必要性をアピールしてほしいと考えています。その結果として後に続く職員がどんどん増えてくれることを期待しています。

診療情報管理室の濱口さんは大学在学中に、2012年に当法人に入職しました。今までの新卒職員とは異なる医療に関する基礎知識を持っており、医療スタッフとスムーズに会話ができていると感じました。自信を持って仕事に取り組んで

医療法人清和会 長田病院(福岡県柳川市) 野口寿美代 法人事務部長

病院経営に役立つ人材の要件として医療経営士を採用。スキルアップを図る土壌をつくる！

医療法人清和会では、法人の中長期計画に基づき、将来を担う人材の育成に力を入れていきます。医療関係の資格に役立つとみなした資格については、取得者

に賞与などでインセンティブを設けています。各資格に対する報酬額は取得にあたっての期間や金額などによって細かく設定しており、医療経営士取得者には賞与に1万円を上乗せしています。推奨する資格は、法人からの一方的な提示だけでなく、職員からの申告により認定する場合もあり、職員個人が積極的にスキルアップを図る土壌づくり

いる姿を見て、2年目からはプロジェクトリダーなどの責任のある仕事も任せています。本人からは、「過去の医療法改正など医療制度の流れを学んでいたのも、昨年の改定についても全体的な視点から見ることができ、理解しやすかった。目標は2級の合格と、DPCデータの分析を活用して、病院経営に役立つ改善を提案していきたい」との話を聞いています。当法人は、院内での研修だけでなく、院外での研修への参加や学会発表などを積極的に支援し、その実績なども人事考課に反映させています。今後も自発的なスキルアップを促す一方、継続的な研修で職員のレベルアップを図っていきます。

医療法人社団徳風会 高根病院(千葉県山武郡) 高根 宏理事長

自主性を重視し、報奨金を支給 意識の高い職員のやる気を後押しする

当院は、急性期を主体に、一般病床(55床)、医療療養病棟(56床)、回復期リハビリテーション病棟(35床)などを有する後方支援型病院です。成田国際空港から車で15分の距離にあることから感染症対策にも力を入れており、感染症病棟(4床)を設置するなど、地域医療への貢献に努めています。

「意味がありません。得た知識を病院にフィードバックし、成果につなげようという意識の高い人こそ、挑戦してほしいのです。そのため、病院の指示で受験するのではなく、職員の自主性を大切にしたいと考え、報奨金という形にしました。」

現在、2級1名、3級2名の医療経営士が在籍しています。資格取得は職員の自主的な動きですが、合格時に報奨金を出すようにしました。



「医療経営士は今後、病院経営の要となる重要な資格」と語る高根宏理事長

全職員が医療経営士資格を持つのが理想ですが、資格を取っただけで終わってしまっ



企画課兼医療連携室の伊東重治課長は、経営の方向性を提案する指南役としても活躍

「昨年1月に2級を取得した企画課の伊東重治課長には、医療改善委員会の立ち上げやブランド・スコアカード(BSC)導入の中心になってもらっています。伊東課長は資格取得後、さまざまな研究会に参加したり、1級受験を目指す過程でBSCを学び、当院へ

「必要を感じて導入に踏み切りました。医療経営士資格を取得することが、新しい取り組みのスタートになったのです。まさにこの動きこそ、医療経営士の本分なのではないでしょうか。」

当院の医療経営士は現在3名ですが、将来的には各部門に配置できるようにしたいですね。医師、看護師、メディカルスタッフが医療経営士の知識を活かしてコスト管理やPDCAを実践することによって、適切な部門運営ができるようになります。さらに彼らがまとまって病院経営を考

株式会社メディカル・ステージ(東京都品川区) 杉田雄二代表取締役

医療経営士3級取得は必須条件 医療機関に貢献できる人材を育成する

当社は、医師専門の人材総合サービス企業として、求職活動中の医師のキャリアサポートと医療機関に対する医師採用を中心としたコンサルティングサービスを展開しています。



杉田雄二代表取締役は、基本的な知識を身に付けるために3級取得は絶対必要だと話す

医師が転職先で長く活躍できるように精度の高いマッチングを実現させるためには、転職先の医療機関がどのような経営方針で今後どのような機能を担っていくのかを的確に把握する必要があります。そのためには医療業界の動向や国の政策など医療経営全般に関する知識が不可欠であり、社員には医療経営士の資格取得を推奨しています。

限の知識を習得させるために資格取得を必須としました。2級取得者から月額2万円の資格手当を支給しています。医療経営士を取得した社員からは、医療経営に対する知識や関心が高まり、医師や事務長との会話や、社内の情報共有がスムーズになったと聞いています。今後は支部研究会への積極的な参加を促し、社員のさらなるスキルアップを図りたいと考えています。



これからは支部研究会の参加も推奨していきたいと語る鈴木友紀夫執行取締役(医療経営士2級)

3級に関しては、業務のベースとなる最低

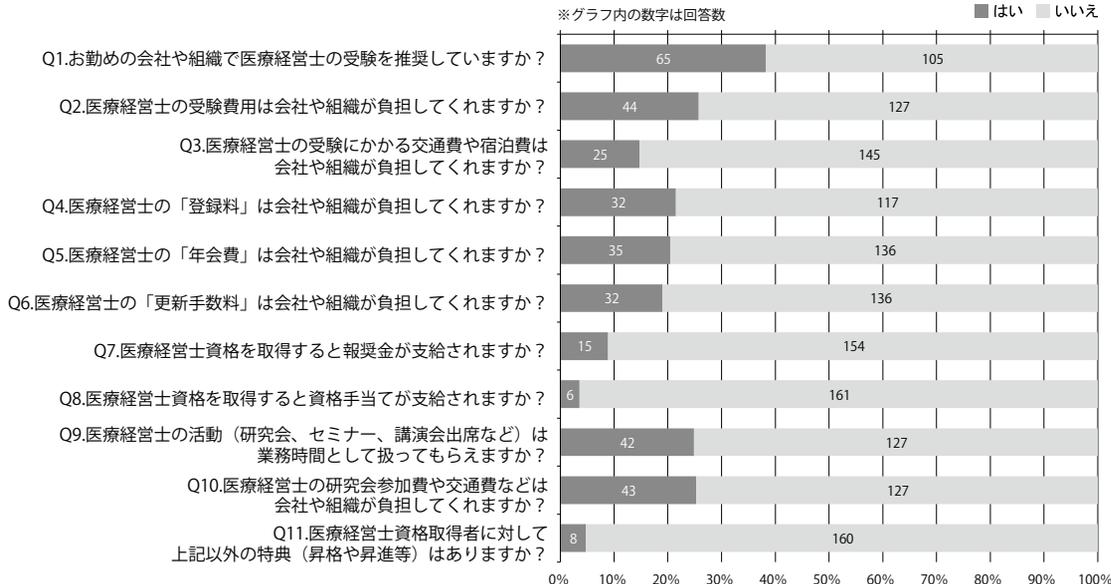
医療経営士以外では、社会保険労務士やAFP(2級FP技能士)などに資格手当があります。また、

「医療経営士は、基本的な知識を身に付けるために3級取得は絶対必要だと話す」

「今後、当社ではマッチングだけでなく、マネジメントやマーケティング、メディアといった領域にも進出しようと考えています。その際、必要となるのは経済の仕組みや社会情勢を理解し、新しいビジネスを創造する力です。これからは医療経営士をはじめとする資格の取得、各種研修を通して、医療機関のさまざまな課題解決に貢献できる人材の育成を目指していきます。」

インセンティブに関するアンケート調査の集計結果

アンケートの有効回答数は171(最大数、設問により異なる)。Q.7の報奨金の額は1万円以下6人、3万円以下7人、5万円以下2人、Q.8の資格手当は1万円以下4人、2万円以下1人、5万円以下1人となっている。Q.11の具体的な特典(昇格・昇進等)については、「昇格基準の試験制度のなかの1つに入っており、資格取得によりポイントが加算される」(金融機関勤務)、「係長昇格条件」(医療機関勤務)などの回答があった。また、医療経営士の資格認定制度に関する意見(自由記述)では、「急速な受験・会員数増に驚いている」との回答があった一方、「まだまだ医療経営士に対する認知度が低い」という声も聞かれた。



支部NEWS 関西支部

四国初の勉強会を高松で開催! 20名が病院会計の読み解き方を学ぶ

医療経営実践協会関西支部では3月1日、香川県高松市のアルファあなびきホールで、四国初となる「医療経営士勉強会in高松」を開催しました。



四国初、高松市で開催された勉強会

当日は、地元高松市を中心に、徳島・岡山・広島など中・四国圏、京都・大阪・兵庫など近畿圏、そして、東京からも医療経営士が駆けつけ、全20名の参加者は非常に多彩な顔ぶれとなりました。

今回のテーマは、「病院会計の基礎」です。講師は、書籍『今すぐできる! ゼロから学べる財務会計入門』(日本医療企画)の著者である梅原隆先生(新日本有限監査法人大阪事務所シニアパートナー)にお願いしました。

勉強会では、自院の財務内容を理解し、改善点を見つけることを目標に、貸借対照表と損益計算書に関する基礎知識を学んだのち、四国がんセンターや岡山医療センター、高松医療センターなど、公表されている公的病院の損益計算書を取り上げ、その病院のバックグラウンドの紹介を交えながら、具体的な決算書の読み解き方を教わりました。

会の終盤では参加者が登壇し、1分間のスピーチを行い、それぞれ医療経営士になった経緯や目標を語りました。なかには「1級の取得を目指しています」と意欲的な発言も飛び出し、会場は大いに湧きました。

この日は、医療経営士の資格を持つ上司や同僚の勧めで医療経営士を取得したり、今回の勉強会に参加した方が少なくなく、当協会の会員が医療経営士の良さを感じ、自主的に資格を広めてくれていることが伝わる良い機会となりました。

勉強会終了後は、希望者による懇親会を催し、梅原先生はじめ参加者は、杯を酌み交わして親交を深めました。

協会事務局からのお知らせ

4月1日より会員制度を改正いたしました! ～法人制度を全面改正し、「学生会員」制度を創設～

本協会では4月1日より会員制度の改正を行いました。今回の改正では法人会員制度を全面的に見直し、より自由度の高い内容とするともに、登録料・年会費が無料の「学生会員」制度を新たに設け、学生の会員活動を支援します。

●「法人正会員」制度について

「法人正会員」入会時の登録料や会員特典などの見直しを行い、会員特典を増やすとともに、より多くの医療機関・企業が協会活動へ参加いただけるようにいたしました。

●法人正会員A、Bを「賛助会員」へ、Cを「法人正会員」へ変更

医療経営士の所属しない医療機関や企業、教育機関を、これまでの「法人正会員A、B」から「賛助会員」へと変更し、年会費を見直しました。また「法人正会員C」は「法人正会員」へと名称を変更いたします。

●法人正会員の特典として、団体申し込み時の受験料割引を適用

「団体申し込み時の受験料割引」につきましては、会員の皆様ならびに入会をご検討いただいている医療機関・企業からご要望が多く寄せられており、このたび実現の運びとなりました。割引率につきましては、別途ご相談ください。

●「学生会員」制度について

これまで学生の合格者は、社会人同様、会員登録時に登録料と年会費をお支払いいただいておりますが、今後より積極的に学生の受験者を受け入れ、また本協会の活動を知っていただくために、登録料と年会費を「無料」とした「学生会員」を創設いたしました。入会対象は、医療経営士3級に合格した「専業学生」で、登録後1年間有効となります。1年後に学生であれば、更新手続きによって「学生会員」を継続いただけます。

新会員種別と年会費、特典

会員種別	登録料	年会費	対象	特典
賛助会員 (旧法人正会員 A、B)	無料	対象：医療機関、教育機関等 10万円(1口) ※1口につき5名まで利用可	正会員は所属しないが、本会の目的に賛同し、その事業に協力していただける医療機関・企業・団体	<ul style="list-style-type: none"> ・会員証(5部) ・会報誌『理論と実践』(季刊)(5部) ・月刊『MMSニュース』(5部) ・メールマガジン(担当者あて) ・「医療経営手帳」(5冊) ・推薦図書・雑誌の割引提供(20%) ・セミナー・各種研究会等への参加割引(5名まで) ・会報誌等への広告出稿料割引 ・協会イベント等への出展料割引
	無料	対象：企業 20万円(1口) ※1口につき5名まで利用可		
法人正会員 (旧法人正会員 C)	① 40万円 (資本金3億円以上)	医療経営士登録人数分×1万円	「医療経営士3級」の合格者または正会員が所属し、かつ本会の目的に賛同し、その事業に協力していただける医療機関・企業・団体	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証(カードタイプ・賞状タイプ、登録者分) ・会報誌『理論と実践』(季刊、登録人数分) ・月刊『MMSニュース』(登録人数分) ・メールマガジン ・「医療経営手帳」(登録人数分) ・推薦図書・雑誌の割引提供(20%) ・セミナー・各種研究会等への参加割引 ・会報誌等への広告出稿料割引 ・協会イベント等への出展料割引 ・団体受験時の受験料割引 ・講師派遣、教育支援(実費) ・医療経営コンサルティング(相談無料) ※送付物は本社等1か所へ送付 ※追加登録人数制限なし
	② 30万円 (資本金1億円以上3億円未満)			
	③ 20万円 (資本金1億円未満) ※医療機関(病院)については③を適用			
	④ 10万円 (資本金5,000万円未満) ※医療機関(診療所)については④を適用			
個人正会員	1万円	1万円	「医療経営士3級」の合格者であり、本会の目的に賛同し、その事業に協力していただける個人	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証(カードタイプ・賞状タイプ) ・会報誌『理論と実践』(季刊) ・月刊『MMSニュース』 ・メールマガジン ・「医療経営手帳」 ・推薦図書・雑誌の割引提供(20%) ・セミナー・各種研究会等への参加割引
学生会員 (専業学生のみ、1年更新)	無料	無料	「医療経営士3級」の合格者かつ登録申請時点で専業学生であり、将来、医療機関や医療関連企業での就業および正会員への入会を考えている個人	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証(簡易タイプ) ・会報誌『理論と実践』(季刊) ・月刊『MMSニュース』 ・メールマガジン ・推薦図書・雑誌の割引提供(20%) ・セミナー・各種研究会等への参加割引